

事務局報告

1999年度第1回幹事会

日時：1999年6月26日 13:00～17:00

場所：国立歴史民俗博物館

1. 庶務

- (1) 会員数 407 名。
- (2) 長期会費滞納者については年に一度、大会前に確認し、幹事会において処分を決定することとした。
- (3) 名簿の記載内容の変更・訂正は、会誌の事務局報告で、会員移動として通知することとした。
- (4) 第18期日本学術会議委員の選出に係わる学術研究団体の登録申請を行った。
- (5) 日本学術会議のニュースは、学術会議のホームページ上に掲載されるので、会員には会誌を通じてアドレスを通知することとした。
- (6) 本学会のメール・アドレスを取得した。学会窓口として利用されるよう公開することとした。

hisbot@rekihaku.ac.jp

2. 編集委員会

- (1) 投稿規定のうち、原稿の長さ、原稿の書式、引用文献の表記に関する項目の一部改定案を承認した。正式には会誌第7巻第1号に掲載することとした。
- (2) 会誌への投稿予定原稿の件数が多いが、実際に投稿された原稿は少ない。投稿を促していくこととした。
- (3) 査読者のリストを会誌上で公表することとした。第6巻掲載論文の査読者については第7巻第1号で行う。
- (4) 会誌の編集・発行を迅速に進めるため、印刷所・印刷方法の変更を検討することとした。印刷所については編集委員会の近在を、また印刷方法についてはページメーカーを使用する方向で、第7巻第1号から適用できるよう検討を進めることを承認した。

3. 行事委員会

- (1) 第17回日本植生史学会談話会を1999年5月15・16日、青森県教育庁の協力を得て、青森市三内丸山遺跡と大矢沢野田で実施した。

15日 13:00～16:00 三内丸山遺跡見学

16:00～17:20 報告会(体験学習館)

18:30～ 懇親会

16日 10:00～15:00 大矢沢野田巡検

三内丸山遺跡見学・報告会は46名、懇親会36名、大矢沢野田巡検は36名の参加があり、盛況であった。

- (2) 第14回日本植生史学会大会案を検討し、以下の内容を承認した。

会場：千葉大学園芸学部(千葉県松戸市)

日程：1999年12月4・5日(土・日曜日)

実行委員会：百原 新(委員長)ほか

内容：一般講演とシンポジウムの2本立てにする。一般講演は、口頭発表とポスター発表の2通りとし、ポスター発表についても、短時間のポスター・フラッシュを設ける。シンポジウムはテーマを「最終氷期以降における亜寒帯性針葉樹の拡大と縮小」とし、話題提供を3題とする。

- (3) 第18回日本植生史学会談話会を、2000年3月、広島大学で開催される日本生態学会大会の自由集会として開催すべく準備を進めることとした。

- (4) 第15回日本植生史学会大会(2000年開催)を関西で開催すべく準備を進めることとした。会員への早期通知(開催の半年前)が行えるよう努めることとした。

会費未納分のある皆様へ

・年会費は2000円です(6巻2号送付時に同封した会費納入状況をご確認下さい)。送金は郵便振替でお願いします。こちらからお送りした用紙が無くなっていましたら、郵便局の窓口に置いてある用紙「払込取扱票」に、

口座番号：00980-8-70087

加入者名：日本植生史学会

を記入して手続きをお願いします。(料金は70円です)・「払込取扱票」の「受領証」は領収書の代わりですので、保管して下さい。

・「払込取扱票」には、「通信欄」があります。「年度会費」「所属(住所)変更(郵便番号、送付宛名)/宛名ラベルの誤字訂正依頼」等、書き添えていただくと整理しやすく助かります。